



二代山川永徳齋(1858-1927) 雛人形のうち三人官女 個人蔵

お雛さまを飾る

2015年2月21日(土)―3月22日(日)

三月三日は上巳の節句です。雛人形をかざり女の子の成長を祈ることから雛祭ともいわれます。この季節にあわせて、京都の「丸平」大木平蔵、東京の永徳齋という東西の名匠による明治末～昭和初期に製作された雛人形を陳列いたします。

中国工芸—精緻な技の世界—

2015年2月21日(土)―3月22日(日)

戦国から後漢時代にかけての鏡・帯鉤、唐宋時代の三彩・青磁・銀器、明清時代の青花・豆彩や彫漆・螺鈿・犀角などを中心に、金属器・陶磁器・漆器に示された多彩で精緻な技を紹介します。表現されたモチーフ、時代による違いなども併せてご鑑賞ください。



銀鍍金 獣面龍文帯鉤
戦国時代・紀元前4-3世紀 本館蔵

東南アジアのやきもの —バンチェンからホイアンカーゴまで—

2015年2月21日(土)―3月22日(日)

ベトナムのホイアン沖沈没船から引き揚げられた寄託作品や、山西敏一氏の寄贈作品などを中心に、ベトナム・カンボジア・タイ(バンチェン陶器ほか)・ミャンマーなど、不断あまり目にする事のない地域の陶磁器を紹介します。中国陶磁からの強い影響を受けながらも、おおかで独自の展開をはたした作品の数々をお楽しみください。

青花 魚藻文盤 ベトナム、ホイアンカーゴ引揚品
後黎朝-莫朝時代・15-16世紀
個人蔵



江戸時代のきもの 徴古裳 中村清コレクション

2015年2月21日(土)―3月22日(日)

東京の袋物商、中村清氏が明治から昭和初期にかけて蒐集された小袖、更紗、袋物など染織品は『徴古裳』として出版されています。本展ではその一部である小袖、紅型などきものを中心に展示します。



石畳に英文様小袖 萌葱縮緬地 染絞織 江戸時代中期・18世紀 個人蔵

大阪市立美術館 天王寺公園内

Osaka City Museum of Fine Arts

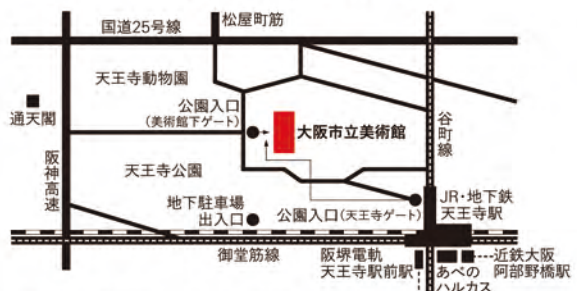
〒543-0063 大阪市天王寺区茶臼山町1-82

tel. 06-6771-4874 fax. 06-6771-4856

<http://www.osaka-art-museum.jp>

開館時間=9:30~17:00(入館は16:30まで)

休館日=月曜日(ただし月曜日が祝日の場合は翌日)



交通案内: 地下鉄御堂筋線・谷町線、JR「天王寺」、近鉄南大阪線「大阪阿部野橋」、阪堺電軌上町線「天王寺駅前」下車、または市バス「あべの橋」下車、北西へ400m